

令和3年度 卒業生からのメッセージ



鶴巻 順 (妙聖寺 / shin 感覚委員会 / 平成15年度入会)

卒業を間近に控える頃、ある考えに思いを馳せていました。それは、もし自分が当会に所属していなかったらどうだったのだろうという事です。人間は都合のよい生き物ですので、中央会を経験していない自分もそれなりに仕事をし、遊び、普通に生活をして「いい人生だ」と言っているもう一人の自分があると思います。しかし中央会での活動を体験した今の自分からその思いがなくなると、自分を成長させていたものが相当なくなってしまうと感じます。自分の人生に多大なる影響を与えて下さった皆様、心より御礼申し上げます。



工藤 陽平 (株式会社ソーシャルビー / BAMBOO 委員会所属 / 平成18年度入会)

先日、子どもが娘原歌さんの「どんなときも。」を聞いていました。その傍らで懐かしう聞き耳を立てていると、2番の歌詞中に「昔はよかったねと いつも口にしながら 生きて行くのは 本当に嫌だから」とありました。30歳で入会して15年と8ヶ月在籍した私も、最近は何かにつけて昔話をするようになりました。けれども、青年中央会がこの歌詞と大きく違うのは「今も強烈に楽しい」ということです。過去に囚われることなく、未来を憂うことなく、今やれることを、今楽しいことを、全力で駆け抜けてください。応援しています。



森脇 勲 (有限会社ワーキング / shin 感覚委員会 / 平成23年度入会)

しゃんしゃん同好会がキッカで、抵抗もなく青年中央会に入会しました。入会当初は、人前で話すのが苦手でもいつも逃げていました。そんな私でも仲間との出会い、役員で色々な経験、成長をさせていただきました。委員長時、私情で退会しようとも何度も思いましたが、励ましてくれた先輩たちのおかげで、何とかここまで来ました。コロナ禍で活動に参加が難しく、あっという間に在籍10年が経ちました。心残りですが卒業することができました。現役会員の皆さん、悔いがないように楽しんで過ごしてください。本当にありがとうございます。



堀 いづみ (有限会社堀鐵金工業所 / 次世代創造委員会所属 / 平成27年度入会)

入会から約6年間の中央会生活にピリオドを打つ時が来ました。入ったきっかけは、紹介者の方より当時社長だった父の時代から自分の代に変わった時に同世代の仲間を増やしておいた方が心強いですよ！というアドバイスからでした。100名を超える会ですので、同じ委員会になったメンバーそでないメンバーもいますが中央会で出会えた全ての皆さんに感謝です。6月で卒業させて頂きますが、7月以降もまたどこかで出会った時は気軽に声をかけてもらえたら嬉しいです！6年間本当にありがとうございました。



谷口 哲也 (有限会社アレンジ / BAMBOO 委員会所属 / 平成27年度入会)

「先ず、青年中央会に私を誘って下さいました諸先輩方に、大変に感謝申し上げます。中央会も卒業の日が近づいてきたな！って思いついてきたな！って思いながらこの原稿を書いております。今、自分の中で卒会のスピーチは何をお話しようかと企んでいます。(笑)入会した当初は大勢の前で話をするのがとても苦手で、苦痛ではありましたが、気付いてみれば何時間でも喋っていたりします。むしろ我先に喋らせて下さいました。不思議です。あんなに喋れなかったのに、何故ゆえに、この様に変わる事が出来たのか？その答えは卒業当日にお話します。」ね。(笑)



西田 誠一 (株式会社アクシス / HU1 委員会所属 / 平成27年度入会)

青年中央会へ入会して7年間、改めて中央会生活を振り返ってみましたが、いつも周りの仲間たちに支えられていたように思います。自身が成長できたかは分かりませんが、多くの先輩や仲間たちとの交流は人生の糧になったことを確信しています。大変お世話になりました。青年中央会としての活動は終わりますが、まだまだこれからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



鈴木 丈夫 (株式会社オールラウンド / ダイバーシティ委員会所属 / 平成28年度入会)

短い期間でしたが皆様と中央会活動が出来、人生において貴重な財産となりました。人見知りな私は中央会に入会し会員と話が出来たかな？とても不安でした。会社の重要なポストの方々が集まって、事を成し遂げる姿を見て人見知りなんて言ってる場合ではないと気づかされました。仲間と英知を養い、友愛を深め、団結して発展を図る事の大事さを学ばせて頂き、時には遊びも入れながら地域発展に貢献できる仲間が増えたと思います。最後に、今しか出来ない学びを積極的に取組んで頂き、ここでしか出会えなかった仲間を大事に活動して下さい。



西原 直美 (株式会社 Welmate / ダイバーシティ委員会所属 / 平成30年度入会)

短い期間の在籍で、その殆どをコロナ禍で過ごすことになってしまった中央会活動ですが、この4年を表現するとしたら「感謝」です。いろいろな経験も出来ましたし、失敗や反省も、未来の糧になり、これから先の自分は、きっと何事にも負けず前に進めると自負します。中央会で出会え、お世話になった皆様、本当に感謝しています。ありがとうございました。現役会員の皆さん、いろいろな事を思いっきり楽しんでください。心から応援しています。



峰 臣一郎 (山陰中央テレビ鳥取支社 / 次世代創造委員会所属 / 平成30年度入会)

中央会の皆様、短いお付き合いではございましたがとても濃い時間を過ごさせていたいただきありがとうございます。私にとって、縁も所縁もない鳥取での生活が充実したのも中央会の活動ならびに会場で知り合った仲間の存在が大きいです。私にあって、縁も所縁もない鳥取での生活が充実したのも中央会の活動ならびに会場で知り合った仲間の存在が大きいです。日本の最少人口県である鳥取の経済・産業の発展は間違いなく中央会のような経済団体が大きく寄与しており、都市部と比較するとその存在は今後益々大きくなるものだと思います。まもなく50周年という大きな節目を迎え、新しい時代に対応していく中央会になっていくことを期待しています。



大空

鳥取県東部中小企業青年中央会 会報

2022年6月発行 N.203

発行人: 田中 雄之 (第47期 会長)
編集責任者: 上田 直明 (次世代創造委員会)
編集委員会: 次世代創造委員会



鳥取県東部中小企業青年中央会

- 【編】一、われわれは自己の研鑽に努め、英知を養う。
- 【報】一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

URL <http://www.tsc21.gr.jp/>
E-mail tsc@tsc21.gr.jp
FB <https://www.facebook.com/east.chuukai/>



会長挨拶

第47期会長 田中 雄之



時の経つのは早いもので、47期の会長として最後のおおぞら寄稿になりました。

今年度は【原点進化】をテーマに、“楽しむことから始めよう”をサブテーマに、コロナ禍で離れたつつある地域・社会・人の繋がり、この繋がりがあってこそ成長してきた当会の原点に立ち返り、時代に合わせた進化をしようとして活動してまいりました。

3月は吉本新喜劇を招いてオープン例会を開催しSDGsと当会のPR、4月はお仕事体験に絞った湖山池フェスティバルを行いました。コロナ禍の開催に、来場いただいた皆様から賞賛の声をいただけたことが何よりの大成功の証と感動いたしました。

形を変え、やり方を変え、地域・社会・人の繋がりをより一層強めた、まさに【原点進化】でできた一年であったと思っています。それもこれも、委員長の高い目的意識と、それを支えた副委員長、会員の皆様の強いご協力、OBの皆様をはじめ関係各所の皆様の多大なご支持、ご協力があってのことです。心より感謝申し上げます。

そして、この6月に9名の方がご卒業されます。全員が偉大な功績を残された方ばかりで、学ばせていただいたものは計り知れません。寂しさや感謝の気持ちでいっぱいです。皆様ご卒業おめでとうございます。

最後に、皆様へ支えていただいた当会のバトンを第48期西原会長と安岡県会長につなぐことができました。今後とも当会へのご支援ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

3月オープン例会報告

次世代創造委員会 委員長 上田 直明

令和4年3月24日(木)とりぎん文化会館・梨花ホールにて「SDGs×新喜劇in鳥取～笑って学ぼうSDGs～」を開催いたしました。新型コロナウイルスの影響で大規模イベントが自粛される中、当日はお子さんから大人まで1,153名の方にご来場いただき、1名の感染者も出さず無事開催することが出来ました。吉本新喜劇を初めて観た方も多く、「腹抱えて笑った」、「テレビで観るより面白かった」、「SDGsについて考えるきっかけになった」といった嬉しいお声を多数いただき、開催した意義を改めて感じました。これまでにない新しい形のオープン例会を開催したことで当委員会名である「次世代創造」が体现出来たと自負しております。多くの方のご協力に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



表2

第18回 湖山池フェスティバル 湖山池フェスティバル 実行委員長 伊藤 省吾

令和4年4月17日(日)湖南体育館と金沢ふれあい公園にて第18回湖山池フェスティバルが開催されました。2期ぶりの開催となる今年度は毎年好評のTザニアをリモデルした「せいちゅーくんお仕事体験！」を主軸に各委員会から全14ブースをお仕事体験を出展していただきました。会員一人一人がキャストとして4〜12歳の子供達320名と様々なお仕事体験に取り組みました。出来る限りの感染防止対策をして安心安全な環境の中で子供達に体験を楽しんでいただくことを目標に全員で取り組むことが出来ました。会員の皆様、ご理解ご協力本当にありがとうございました。また体操教室をしていただきましたチャレンジ(株)様、素晴らしいブースをありがとうございました。

当日は天候にも恵まれ、沢山の子供達の楽しそうな笑顔を見ることが出来ました。このイベントを機に地元鳥取で働く青年中央会のメンバーとの交流を通して様々な職業への関心や人ひととの繋がりを感じていただけたら幸いです。

企画運営にあたっては、名義後援、募金等で多くの企業様、OBの皆様にご協力いただきましたことを心より感謝いたします。年度テーマであります原点から進化することが出来た内容だったと感じておりますし、何よりこのイベントを皆で楽しむことが出来たと思います。多大なるご協力を本当にありがとうございました。



県臨時総会・ビジネス教育事業 県出向理事 田村 聡子

令和4年3月5日(土)ANAクラウンプラザホテル米子にて、会場、Zoomでのハイブリッドで無事に事業を開催することができました。臨時総会では、安岡次年度県会長、各地区の次年度県副会長が承認されました。おめでとうございます！！ビジネス教育事業では、各地区のOBの方にそれぞれのリーダーシップに対する考え方、実体験をご講演していただきました。今回の講演で学び得たことが、これからの決断の後押しになればと思います。ありがとうございました。



表3

4月オープン委員会

shin 感覚委員会 委員長 池添 佑

令和4年4月25日(月)パレットとっとり市民交流ホールにて、2月例会で行う予定でした「コロナ時代のコミュニケーション術～言葉だけではない伝え方～」講師、倉光義和氏をお招きしオープン委員会として開催しました。とても良かったとの声もたくさんいただき開催して良かったなと思いました。開催にむけて協力してくれた倉光OB、委員会メンバーには感謝の気持ちでいっぱい。ありがとうございました。



5月例会・臨時総会

ダイバーシティ委員会 委員長 住 仁人

5月例会では、田中会長の掲げる『原点進化』～楽しむことから始めよう～のテーマの下、新型コロナ感染拡大のなか各委員会のカラーを活かし積極的な活動が行われ、そのなかでの苦労・喜びが錯綜した1年間を各委員会・実行委員会委員会メンバー全員で総括し、また全員登壇して発表を行いました。発表を聞いている他委員会の捉え方も、趣向を凝らした各委員会の発表には共感いただけたと思います。委員長一人での発表形式から、委員会全体で発表することにより、各委員会の顔や活動内容がより伝わりやすくなること、また入会間もない会員がより他の委員会活動に興味を持っていただけることを目的に、より意義のある5月例会を目指しました。各委員会への大変な負担はあったと思いますが、どの委員会も協力いただき、全体で取り組めた例会となりました。



新入会員研修会

サポート実行委員会 委員長 岡 大輔

令和4年5月17日(火)パレットとっとり市民交流ホールにて新入会員研修会を開催いたしました。2月開催予定でしたが集合形式での開催を実施したいという思いから、日程を変更いたしました。参加者の皆様ご対応いただきありがとうございました。また対象者22名全員参加していただきありがとうございました。内容については三役の方々に会についてまた事務局より団体中央会についてもご説明いただきました。その後、千馬OBと茶谷OBに中央会活動を振り返っていただき貴重な高話をちょうだいいたしました。コロナ禍はまだ続くと想定されます。会員の皆様、新入会員の方へのフォローを今後もよろしく願っています。

